

◆『経済倶楽部講演録』

バックナンバーのご案内

＊6月号 寺島実郎「21世紀日本の構造変化―真に問われるべきこととは何か」、伊藤元重「当面の経済動向と日本経済の課題」、三品和広「産業連鎖―どこに利益は落ちるのか」、上野泰也「今後の日本経済・市場動向をどう見るか」

＊5月号 保阪正康「戦後70年を考える」、歳川隆雄「安倍政治が目指すもの」、河野龍太郎「2015年の日本経済の見通し」、中岡望「混迷する米國政治」

＊4月号 佐々木俊尚「加速するネット社会と言論」、廣瀬陽子「大庭三枝・進藤榮一」国際社会の中で「国」という枠組みは今後どうなっていくのか、大榎陽一「今世界から孤立を深めている日本の診察ガイドライン」、八代尚宏「労働市場改革の課題」

【編集後記】 国会が9月末まで延長され、

今年は安全保障問題を巡る熱い夏になりそうです。安倍政権は、憲法改正を正面から定義せず、集団的自衛権の解釈変更と安全保障関連法案の整備を優先させるといふ「名より実を取る」方向で進んでいます。しかし、与党推薦の参考人にまで「違憲」と指摘され、議論は迷走気味です。

加えて、安倍首相の悲願である憲法改正の発議はあくまでも国会と国会議員が行うもので、行政府には提案権がないとのこと。自民党の憲法調査会に委ねざるを得ないでしょう。しかし、悲願であるのなら、どこをどのように変えたいのか、それを国民に堂々と表明し、理解を求めねばなりません。今のままでは中身には興味がないのかと疑われても仕方がないでしょう。

次号は、石川一洋氏、「変わるユーラシアの地政学―どうする対口外交」、庄司克宏氏「ギリシャ問題で揺れるEUの現状と今後」、山下一仁氏「TPP交渉と農業改革」、佐治信行氏「2015年、16年展望―日本経済、どう動く」を掲載予定です。

東洋経済 **経済倶楽部講演録** (2015年7月号)

2015(平成27)年7月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 山縣裕一郎 編集人 柴生田晴四

発行 東洋経済新報社

編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <http://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 東港出版印刷

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉